

▶▶ 今月の主な記事

新年組合員
交流会
4～5

JIC
ボランティア
5

サバイバル・
ウォーク
6

協ちゃんの
ひよっこり散策
7

法律Q&A
先物取引で大損害
8

注文建築にかける家づくりへの想い

昨年末に京都市が主催する第2回京都市環境配慮建築物顕彰制度「京 環境配慮建築物」の表彰式がありました。その戸建住宅新築部門で優秀賞を受賞された株式会社竹内工務店の竹内明社長からお話を伺いました。

「家づくりへの想い・哲学」について

地域の風土や歴史あるものなかで培われた古きよきものに範を得て、素材を選び、技術をいかす地域と風土に根ざした人と環境にやさしい住まいづくりを目指しています。

20年ほど前から組合の結の家事業をきっかけに「地産地消」の「京の木で家づくり」を進めています。府内産杉の使用や京都市の「京の杉人工房事業」にも参加し、地域の小学校へ「住育セミナー」の出前授業もしています。京都の風土にあう建物は、地産の素材や顔の見える職人たち、そして、文化や技術が合わさって形作られると思っています。

そして、それを次の世代にも伝えて行きたいという思いから、京都市の文化財マネージャーにも登録しました。

「将来の目標・ビジョン」について

もっと日本の木(杉・桧・松)をうまく使い、自社独自(オリジナル)の住まいづくりを進化させる。そして、木造の可能性を高める仕事に挑戦します。(CLTや木造耐火建築物など)

そして、ハウスメーカーにまねのできない地域に根ざした「家づくり」を探求しています。

京都府民への訴えかけは一企業だけ

では限界があります。同じ志を持った組合員さんと一緒に「新しい京都の家ー地産地消の家づくり」というブランドを高めるとともに、広めて行きたいと思っています。

竹内社長は、現在受注している住宅のほとんどが紹介だと話されていました。それは顧客満足へのこだわりと、自身の家づくりへのこだわりを巧に融合された結果なのだと、この取材を通して確信しました。(9Pに関連記事)



表彰された住宅と表彰状



京の山 杉人工房「嵯峨・木こゝろ風」の事務所

何でも コール

組合へのご意見・ご要望・苦情… どんなことでもお気軽に！

協同組合では、組合員とのコミュニケーションを円滑にし、組合員のための組合をめざすため「何でもコール」体制をつくりました。まずは担当、福本まで。



(建ちゃんの祖父)

Tel.075-382-1021 Fax.075-394-3201

建設工事の工程計画・工事管理の意義として、近年、投下資本の早期回収を目的にして発注者の建築工事の工期短縮に関する要望はこのほか厳しくなりました。

一方では、建築工事費の低減を目的にした工期短縮を機械化工法や省力化工法、建築部材の工業化・標準化等の採用によって成し遂げようとする請負業者の努力も精力的になされています。

このような状況の中では、ただ単に過去の工事実績をもとにした経験的な対応をしては発注者のニーズに対応できないばかりでなく、企業の存亡をかけた競争の中からも取り残されてしまうこととなります。

工程計画の立案に当たってはコスト低減、品質向上、作業安全の確保などに十分に配慮しながら建築材料の部品化(プレハブ化)、ユニット化、ブロック化等を積極的に取り入れて建築工事の生産性を高め、工期の短縮とコスト低減を図る努力が何よりも重要になっ

てきます。

工事コストは直接工事費と間接工事費を合計したのですが、前者は工期があまりに短くなると増加し、逆に長過ぎても増加します。

例えば、突貫作業では労務コスト増加が顕著に見られます。後者は工期に比例して増減します。この傾向は工事管理要員の人件費が大きな比重を占める現場管理費に顕著に現れます。

つまり、そこには工事コストを最小にする適正工期(最適工期)が存在します。適切な施工速度(工期)を無視して工期短縮を図ろうとすれば建物の施工品質が低下するばかりでなく、安全作業の確保に支障を来し、効果的な労務・資機材の活用が阻害されてコストの増加をもたらします。

重層下請構造の中にある協力業者とそこで働く作業員が実施する施工品質の確保や安全作業への取り組みは、施工計画の良し悪しに大きく左右されます。

工事の工程管理を行う上で、クリ

ティカルパス*を優先して理解し、各作業ごとの工程上の余裕を掴んでおくこと、そして、経済工程に走ることなく安全、品質に配慮するとともに、労務・工事機械等円滑な回転を図りコスト低減に努めること等、建設工事全体に利益をもたらす要因のひとつといえます。(河原良樹)

クリティカルパス

「重大な経路」の意味。システム構築などのプロジェクトを進めるうえで、ネックとなる部分を指し、事実上プロジェクト全体のスケジュールを左右する作業の連なりを指す。クリティカルパスの作業が遅れると、プロジェクト全体のスケジュールが遅れることになる。このため、クリティカルパス上の作業を円滑に進行させることがプロジェクトを管理するうえで重要となっている。

各支部忘年会・新年会

各支部の忘新年会の結果です(参加人数は役職員含まず)。

◆右京・北山支部合同 12月12日

会場 百足屋 本店

参加者 22人

◆洛中支部 12月5日

会場 Kiyamachi ROSSO

参加者 13人

◆新京支部 12月13日

会場 きんなべ

参加者 11人

◆伏見支部(新年会)2015年1月22日

会場 車屋

参加者 5人

◆宇治支部 12月16日

会場 グルメリア但馬

参加者 15人

◆久御山支部 12月19日

会場 やまらんばい

参加者 4人

◆洛南支部 12月12日

会場 京料理 十両

参加者 6人

◆JIC 12月8日

会場 カフェ・ブラスリー

パリ21区

参加者 11人

DJ的IT講座(47)



本格化する「多言語リアルタイム音声翻訳」

「コンピュータがどのような言語でもリアルタイムで音声の同時通訳をする」という世界の現実、ここ数十年、膨大な時間と費用、人材を投入して積み重ねられてきた重要な研究分野です。ドラえもん(翻訳コンニャク)のような、「夢の世界」は、もうそろそろ実際の世界になるかもしれません。この程発表されたアプリ「Google Translate」のアップデート情報をみると、「大きな壁」を越えた予感がします。

残念ながら「日本語」対応は、もう少し後になるそうですが、Android・iOSのスマホ上で、マイクボタンを押して二人が話し始めると、音声を自動認識して各翻訳文字をリアルタイムで画面に表示するそうです。

現状では、英語・フランス語・ドイツ語など7カ国語に対応し、道路標識をスマホ写真で写すと、瞬間的に翻訳された文字に変わる機能も付いて、今後の進展が楽しみです。

メディア・コンサルタント 福井 文雄

(fukui@djlabo.jp / 株式会社DJ代表取締役社長)

コーヒーサーバーを導入 機材リース

リースの窓口では、夏場にウォーターサーバーがお客様に大変好評でしたので、新たにコーヒーサーバーを導入しました。

出庫・入庫で窓口にくられた際には是非ご利用下さい。

また、当たりくじ付きのインパクト用のビットを販売しておりますのでこちらもご利用下さい。 (総合事業部)



左：コーヒーサーバー
中：サムライビットの説明
上：お菓子ではありません

身近な歴史 文化財

今回は身近なところを紹介したいと思います。

皆さんご存知だとは思いますが、今の組合の住所である西京区榎原【榎原かしはらと読まれる方が多いですが、榎原かたぎはらと読みます。】ですが、この地にも調べれば意外と面白い歴史があります。

たとえば、榎原は昔は宿場町として栄えていました。南北に通じる【物集ものづ女街道】や東西の幹線通路【山陰街道】があります。

旧山陰街道には今でも名残があり、古い遺跡が点在しています。その中には勤皇志士の遺跡や明智光秀が本能寺へ向かった道があるといわれています。そして「明智川」という川があり、本能寺からの帰途、明智光秀が榎原で落馬した際、老人がおにぎりを差し出し、お礼に用水路を作ったという伝説もあります。

あと、私が住んでいるところが、「向日市物集女町燈籠前」ですが、やはり

ここにも色々あります。そのうちの1つ地名の由来ですが、物集女(もずめ)には河内国大鳥郡の百舌鳥もずに勢力をもっていた一族が、この地に移り住んだことによるとされています。



物集女町燈籠前の碑

「物集女」はかなり古くから記録に出てくる地名で、9世紀ごろの記録には「物」と「集」の2文字だけで「もず」と発音していた事例も見られます。

そして「燈籠前」ですが、家の近所には写真のような地名の由来が書かれたものが建てられています。

このように自分の住んでいる地域でもいろんな発見があります。おすすめは「早朝ウォーキング！」私は犬の散歩で歩いております。健康の為にぜひひ！ (谷口弘樹)

物集女町燈籠前

昭和の初めまで、寺戸と物集の間は、竹やぶと水田ばかりで、民家は一軒もなく、細い道が愛宕山へと通じていた。さびしい村外れとあって、愛宕参りの目印に燈籠が立っていて、それが地名となった。

木造住宅の必需品

QTダンパー
クエイ・テクノ



【耐震】と【制振】で地震に耐える



「QTダンパー」が持つ繰返し建物に加わるエネルギーを吸収する制振性能により、柱と梁の接合部の緩みを抑えて、建物の固有周期が伸びることを防止し、共振による倒壊から建物を守ります。

経営理念

「先端技術で安全と安心を創造する」
わたしたちは
わたしたち石山テクノ建設の補修・補強の保全技術で
暮らしやすい環境を人々に提供できる
このことを最大のよここびとしています



石山テクノ建設株式会社

一級建築士事務所

〒604-8411 京都市中京区聚楽廻南町1番地
TEL (075) 822-4377(代) FAX (075) 803-0417

<http://www.ishiyama-techno.co.jp>

組合の未来像をみんなで思い描こう 新年組合員交流会

組合は、「集う！協同の力、輝く60年——地元企業の団結で、世界に誇れる京都を！」と銘打った新年組合員交流会を1月16日、ウェスティン都ホテルで開催しました。組合員の知恵と力を1年間どれだけ結集できるか、それを予測するとされる新年交流会の盛り上がり。とりわけ創立60周年を迎えることしは、組合が60年からどんな道を歩むのか、内外から注目されます。早々に、将来ビジョンの作成に知恵と力が必要になっています。

参加した組合員ら150人は、大いに懇親を深め元気よく2015年のス

タートを切りました。最初に開会挨拶に立った川久保雄二郎理事長は「60年間続けられたのは先人たちのお蔭。それ以上に現在の300の組合員さんの支えがあったからです」と感謝し、「継続するためには人から人へのバトンタッチが大事。組合は組合員さんも職員もその人が生まれつつあります。しかもその人たちは輝いています」と述べました。

来賓として参加された4党からも挨拶(大要は別記)。組合の「政党との関係」を表す各党からの挨拶は、組合員のところでも馴染んできました。乾杯

は尾形良治副理事長。「4月には一斉地方選挙。きょうご臨席の議員の皆様再選を願います」と前置きして発生した。

60周年のスローガンに採用された応募者表彰も行われ、小林博明委員長から感謝状と副賞が授与されました。授受したのは北山支部、石山孝史、櫻井義久の3者。

閉会の挨拶は宮下茂一副理事長が「10年後の組合をどのようにしたいか、組合員全員でその姿を思い描く60周年にしましょう」と述べ、三本締めで締めくくりました。(雄)



60周年テーマのもと、開会のあいさつ



メインテーマ表彰を喜ぶ西村支部長



最後は三本締め

「Do-nou(土のう)」で貧困削減! 新年組合員交流会講演

今年は協同組合創立60周年ということで、特別講演を行いました。講師として、木村亮氏(京都大学大学院教授)をお招きし「人々の暮らしを守り豊にする土木の原点で世界の貧困削減を目指す」というテーマをお話いただきました。

私は京大教授らしくないということがウリです。土木の世界では新しい技術がなかなか採用されません。しかし、さまざまな研究と実験を繰り返し、廉価で性能を向上した「集成橋脚」や農業用水の正確な分配ができる「円筒分水工」などの構造物を提案し、実現し

てきました。大学教授をしながら20年以上前にJICA 専門家としてケニアに赴任して以来、「アフリカの問題をアフリカ人自身で解決し、貧困削減につなげるにはどうすればよいか?」を研究。そして、07年に「NPO 法人道普請人(み

ちぶしんびと)」を立ち上げました。NPOと聞かれるとボランティアや



誰でもできる「土のう工法」

豊・ふすま・インテリア
室内装飾仕上 クロス、表装、床施工、ダイノックシート、ガラスフィルム、障子張り、カーテン、ブラインド、キッチンパネル施工

株式会社 **にしむら** 京都府知事認可 (般-14) 4728号
 京都市右京区太秦安井松本町22 (三条通り天神川東入ル)
 TEL 075 841-4400 FAX 075 811-0339
<http://www.homeservice.co.jp/>

土木・建築・製作金物 設計・施工
 製作金物の構造計算から作図・設計・施工までいたします。

ステンレス製作金物なら実績ある当社へ御用命ください。

株式会社 **三田**
 京都府久世郡久御山町野村東147-2
 TEL (075) 631-7833 FAX (075) 631-7857
<http://www.mita036.com>
 mita036 検索

慈善活動のようなイメージをもたれませんが、NPOの本質は「ソーシャルビジネス」でもってさまざまな問題解決にあたることだと考えます。

我われの活動はアフリカの未舗装農道を整備し、農作物を腐らせずにちゃんと市場まで運べるようにすることで地域にお金が入るといふ仕組みづくりです。[Links to Market]といいます。その為に活躍するのが「Do-nou(土のう)」です。土のうという“安価な誰でも扱える道具”と“現地の住民の人力

作業”で道路を整備していきます。

言葉が通じないときは紙芝居などを使いながら、現地の住民に方法を教えます。

「自分たち問題は自分たちで解決できる！」と住民自身に思ってもらうことが重要です。我われが日本に帰っても住民たちの手で、維持管理を含む農道整備活動が継続していきます。そして、現地の若者たちが起業してビジネスでもって地域活性をしてくれています。これを慈善活動ではなくビジネス活動

として行い、沢山の日本の若者やシニア世代を現地へ送り込んできました。

この活動はすべての発展途上国の道が整備されるまでやります。そして、将来はノーベル団体平和賞の受賞を目指しています。

建設が地域の問題を解決し、その発展に役立ち、地域住民もその活動に参加する。建設業の本質はここにあるのではないのでしょうか。(西村 学)

新年組合員交流会での来賓あいさつ

各政党からお招きしたご来賓の皆様のご挨拶を紹介します。(要旨・敬称略)

安田 守(自由民主党京都府議会議員)

地域に根ざすということが大事だという考えから、町家など木造住宅への改修の府の補助金の額を上げさせていただきました。農作物でも地産地消が盛んになっています。建設業もそうだと思います。地域住民が地域建設業者へ仕事を依頼できるような環境を組合員さんや一般府民や私たちの“横のつながり”でつくっていきたくと思っています。

尾形 賢(自由民主党京都府議会議員)

来年度の国の予算が過去最高となりました。それを受けて、京都府の予算もこれから審議に入っています。重要な点として地域の経済政策と雇用対策を京都府議会で山田知事とともに

審議してまいります。

今年一年も皆様とともに地域と経済の発展につとめてまいりますので、何卒よろしくお願いたします。

田中健志(民主党京都府議会議員)

協同組合の皆様には京都府としてもお世話になっております。前回の統一地方選挙の直前に東日本大震災が起きました。震災を受けて貴協同組合と京都府が防災協定を締結させていただきました。協同組合でも防災士の取り組みに賛同いただいております。今年もさらに一層の連携を深めてまいりたいと思います。

前窪義由紀(日本共産党京都府議会議員)

アベノミクスは大企業だけが儲かり下請けには回りません。それが証拠に大企業の内部留保は増え続け、この一年あまりで十数兆円増大し、285兆

円となりました。「大企業さえ良ければ」という政策の転換がもたらされていると思います。具体的には自治体レベルでの中小企業・地域振興基本条例や公契約条例の制定を進めます。さらに住宅リフォームを地域産業の中心と位置づけてまいります。

日置文章(公明党京都市議会議員)

総選挙では自公で過半数を獲得させていただき、安定した政治を行ってまいります。その元で地域の問題をどのように解決していくかが問われています。新年度予算で切れ目のない経済対策をおこなってまいります。市議会議員である私の立場からは「人口減少」への対策を国の地方創成政策と共同でおこなってまいります。さらに若い世代の住宅対策や京都市の空き家対策も行っています。

JICボランティア事業

2014年12月14日(日)長岡京市の「きりしま保育園」にてボランティア活動をしました。内容は入口ゲートと遊具の塗装・遊戯室の間仕切りに使うジョイントついたての加工組立・建具の調整数枚・会議室の机の補修・道具箱入れの補修など1日で終わることすべてをやってきました。

メイン作業のジョイントついたては自分が仕事終わりに少しずつ製材の木どり・墨付け刻みをし、ゲートと遊具

の塗装は時間との戦いでした。寒い日で北側面の日当たりが悪く、ケレン作業→下塗りがなかなか乾かず仕上げが



道具箱入れ

夕方までかかりました。みなさんお疲れ様でした。(JIC会員 築山史典)



入口ゲートの塗装

サバイバル・ウォークの取り組み& 川瀬京都大学教授の講演会 9センチの角材を組み込む耐震壁

京都サバイバル・ウォークの16回目取り組みが、阪神淡路大地震から20年目を前にした1月10日、京都市役所庁舎前広場で行われました。約40人の参加者を前に、今回から代表を引き継いだ川久保雄二郎氏が「人の命や安全を最優先する考え方を社会や経済や政治に、なぜ組み入れられないのだろうか。そんなに難しいのだろうか」と問いかけ、「だからこそサバイバル・ウォークのような住民に備えの意識を広げる活動が大事です」と挨拶しました。

前代表の中原弘志氏もこれまでの取り組みを振り返りながら今後の活動の方向を示しました。引き続き防災士の太田興氏が、地震発生のいろはや被災

の要因を分かりやすく紹介した後、「帰宅難民の心得10カ条」を1カ条ずつ解説しました。

その後、ホテル本能寺で勉強会「居ながらにして耐震補強ができる『しなやか吸振工法』」が行われました。

講師の京都大学防災研究所教授の川瀬博氏が「変形性能が高く粘り強く耐える耐震補強工法が必要。そこで考案した『壁柱工法』は施工も容易だ」と



述べました。これは、9センチの角材を柱間に連続して組み込み、ボルトで緊結した、耐震壁です。川瀬教授は「この壁柱工法を他の工法と比較するために振動台でも実験しました」と報告しました。

この後、京都市都市計画局高木勝英課長が、京都市の補助事業「まちの匠の知恵を活かした京都型耐震リフォーム事業」の紹介をしました。(川)



60年からの道程^⑫

販売事業を蘇らせる自力と情勢は変化させられるか

2004年にもこの誌上で書いた「共同購入」事業問題。当時も、さらに10年前の言葉を引用して「スケールメリットに頼って漫然と共同で購入するだけでは事業の魅力を発揮しにくくなる」[発想を転換する必要がある]と、書いています。つまり20年前にすでに、この事業の未来を憂っていたのです。現在は「販売」事業と呼んでいるが、その後の10年を見てみましょう。

事業高(売上額)は、別表のように推移しました。現在においては微々たるもので、完全に主要事業でなくなりました。そこに至ったのは、①中間問屋などを介在しない仕入に変わったことや価格設定がさらに低下したという供給側のこと②顧客である組合員の工務店比率や新築事業比率の減少という需要側のこと、が要因です。発想の転換が必要であると、

20年前から警鐘を鳴らしていたのです。

その後、耐震関係商品など特殊品をはじめとする「小ロット多品種」を打ち出してみたものの、顧客ニーズとのズレを埋めるところまでいかず、売上に寄与することにはなりません。貧すれば鈍するで、専属職員を置くことすらできなくなりました。

警鐘を鳴らすまではできたが、その後の新しい動きを作れなかったし、ビジネスに高めることができませんでした。ここが組合の決定的な弱さです。その弱さは今でもあらゆる課題において見え隠れしています。時には、事業を新しく転換することを阻む要因になっています。

さてこれから、販売事業で巻き返して捲土重来ができるでしょうか。建材や住宅設備のビジネスはまだ続

年度	売上(千円)
2004年度	299,665
2005年度	266,516
2006年度	184,515
2007年度	149,138
2008年度	94,748
2009年度	45,568
2010年度	40,912
2011年度	33,253
2012年度	30,122
2013年度	26,953

いています。販売する中間問屋なども少なくなったとはいえ生き延びています。しかし組合の事業としてみた場合、販売事業が事業としてなりえるのでしょうか。この連載のタイトル「60年からの道程」にふさわしい販売事業の新しい道は、普請できるのでしょうか。少なくとも、需要と供給の双方からの検証に時間をかけざるをえないように思います。さらに物事を切り開く自力を強めることも基本のことです。(川久保雄二郎)

協ちゃんの 京の街並みひょっこり散歩

第3回：1升びんのゆくえ～鵜飼商店さんを訪ねて～

今回は寺之内・大宮通商店街にある酒屋「鵜飼商店」さんを訪ねました。この辺りは船岡温泉があり、20年ほど前シャワー生活を余儀なくされていた私たち家族はよく通っていました。日常生活の中で、食品だけでなくお酒も添加物の入っていないものを買うようにしていた私は、この店の1升びんワインがお気に入りでした。

鵜飼商店は創業100年。純米吟醸中心の日本酒専門店、無添加の国産ワインやオーガニックワイン、地ビールや本格調味料もあり、品揃えが豊富でとても個性的です。入口にはご主人手書きの惹句が張り巡らされ、「和食に合うオーガニックワイン」「温度の違いでとっても楽しい燗酒」「料理が楽しくなる本格調味料」「酵母たっぷり満足地ビール」とこんな具合です。酒好きでなくても思わず入りたくなる店構え。

店内に入ると、外と変わらない寒さ。こだわりのお酒類がところ狭しと並べられ、店主の思いが伝わってきます。全国各地の酒蔵に店主自ら足を運び、選び抜いた純米酒がラインナップされていて、お酒以外にも原材料や製法にこだわった醤油やみりん・油・塩・味噌、和三盆…食品に留まらず酒粕石鹸や純米美容液など、どれも試してみたくなるものばかりです。他にも純米樽酒の量り売りや、風呂敷・酒も売られています。

当時、環境問題の活動をしていた私は店主の哲学とその熱心さに惹か



お店の裏にはとても素敵なお庭が

れ、この店のファンになりました。今を生きる私たち世代は効率優先で突き進んでいるのではないかと感じていたので、自分たちの世代で大切なものを使い捨て、次の世代に一体何が残せるのかと真剣に向き合う店主に共感したのです。

また、リユースびんの回収に市内で真っ先に取り組まれたのも鵜飼さんです。リユースびんは「リターナブルびん」や「生きびん」とも呼ばれ、空きびんを再利用するシステムです。一升びんや、ビールびん、牛乳びんなど洗って何度も繰り返し使うのですが、これは何も新しいことではなく、少し前まで普通にやっていたことですね。ペットボトルのように溶かして再び形を作るリサイクルとは違って、洗ってそのまま使えるのでエネルギーを最小限で食い止められます。

そんな魅力のあるリユースびんですが、利用量は年々減り、最近はその運用が難しくなっているそう

です。20年ほど前までは清涼飲料はびんで販売されていましたよね。ビールびんや1升びんは町内の酒屋さんが家まで運んでくれて、空きびんを回収してくれていました。でも自動販売機の普及と小売店のコンビニ化が進んだ結果、缶やペットボトルなどに代わってしまいました。

実はこの1升びん、日本独自のものだとご存知でしたか？自動販売機でお酒を売っている国も日本だけなのとか。今の日本では単にリサイクルだけを目指した仕組みしかなく、特に1升びんは国が規格を統一しない限り運搬ルートに乗りにくいのです。鵜飼さんは近い将来、日本から一升びんは消えていくことになると危惧しておられました。

大切なものを残す。それは建設業に限らずどんな仕事でも同じではないでしょうか。この日、鵜飼さんの熱い思いを久しぶりに伺って、日々の暮らしの中に多くの課題が隠されていると改めて感じました。

(松野晴美)



奥の保管所

洛王セレモニー株式会社

本社：南区久世高田町 35-3 全京都建設共同組合指定店

24時間・年中無休 ☎ 0120-22-8343

▶▶▶ご遺族の心になってご奉仕！～会員価格でのご葬儀サービス～◀◀◀

■桂ホール (南区)	■東山会館・想苑 (東山区)	■宇治ホール (宇治市)	■大津御殿浜ホール (大津市)
■久世メモリアルホール (南区)	■山科御陵ホール (山科区)	■城陽会館 (城陽市)	■大津瀬田ホール (大津市)
■吉祥院ホール (南区)	■向日上植野ホール (向日市)	■高槻ホール (高槻市)	■草津やばせ中央ホール (草津市)
■らくさいホール (西京区)	■長岡京ホール (長岡京市)	■びわこ大橋会館 (大津市)	■草津矢倉ホール (草津市)
■ふかくさホール (伏見区)	■亀岡駅前ホール (亀岡市)	■おごとホール (大津市)	■草津東ホール (草津市)
■伏見桃山ホール (伏見区)	■亀岡篠ホール (亀岡市)	■さかもとホール (大津市)	

法律Q&A 先物取引の投資で大損害～損害を回復できるか!

Q 私は建設業を営んでいます。1年くらい前、安定した資産にと金の地金(じがね)を購入しようと業者を探したところ、業者開催のセミナーに誘われ、金を保有するなら、地金より先物取引の方が手数料も安く有利であるし、先物は儲かるなどと勧誘を受け、取引をしました。取引員の言うとおりにし、最初は利益が出ましたが、その後はずっと損で、途中止めたいと思ったのですが、今止めると損だけになりますと言われ、仕方なく続けたところ、結局1億円くらいの損になりました。どうすればいいのでしょうか。

A 先物取引の被害に遭っていると思われる。契約前の詐欺的あるいは強引な勧誘や契約後の担当者のアドバイスがもとになり損を出している可能性があります。

先物取引とは、工業原料(金、銀、プラチナ)、石油類(原油、灯油、ガソリン)、植物原料(とうもろこし、砂糖、大豆、小麦)などの商品について、例

えば原油の6ヵ月先の価格を予想して、それが今取引されている価格から下がる予想なら今の段階で「売り」(を建てる)という投資をし、上がる予想なら「買い」(を建てる)という投資をする取引です。「売り」を建てた後に価格が予想通り下がれば、「買い」で取引決済となるので利益が出るという仕組みです。

しかし、これは専門的な分析や経験による知識の集積がないと利益を上げることができません。特に「限月」という長くても半年後には決済しなければならぬ時期が決められていて、それまでの短期間の値動きだけで利益が出るかどうかは、気候変動や政治的な事件等の不確定要素が大きく、素人では対処できません。日本弁護士連合会の被害調査では10人中7人から8人が損で終わっているとのこと。従って、取引に勧誘された人はほとんど全員が素人で、ほぼ全員が損を出している実態があります。素人が参入し

ないと市場が成り立たないので、カモにされているのです。

業者も「絶対儲かる」などと言って必死で勧誘してきますが、その発した言葉の証拠は残しません。また、投資者本人の意思で取引をしたという証拠を残すために必ず電話を掛けてきて同意を取りつけます。しかし、複雑な相場の値動きなど大抵は取引員のアドバイスに従うものです。途中で止めようとしても、損が残りますよと脅して継続させます。裁判では、こうした勧誘員の行為を違法と認め、過剰な投資に引きずり込んだことを理由に被害者の損害賠償を認め勝訴しています。困ったと思ったらまず弁護士にご相談ください。

(京都第一法律事務所)
弁護士 奥村一彦

毎月第一水曜日

無料法律相談

教えてください
会社名の由来!

第8回

洛南支部

フィデース
FIDES(株)さん
(代表 田中彰則さん)



「FIDES(フィデース)」とは、ラテン語の「信頼」という意味です。お客様や、同じ水道の仕事をしている仲間や、また一緒に仕事をしている方々等、あらゆる方面から信頼されることが大切であると考え、そして願い、この名前をつけました。

会社は、古くから組合員であった先代の(有)嶋管工業に始まります。嶋さんとは父の代から仕事をご一緒していたのですが、嶋さんが高齢により引退されることになったとき、5年間は「嶋

管工業」の名前を受け継ぐという約束で、引き継ぐことになりました。そしてその5年間も過ぎた2年ほど前に、会社を株式会社へ変更するに伴い、「FIDES(株)」として新たなる出発をいたしました。「信頼」される企業であり続けることを心に刻み、今従業員7人と共に、日々頑張っています。



私たちが家族のように24時間365日寄り添い、支えています。

- 親の介護で悩んでいる・・・
- 入院することになったら誰に頼んだら・・・
- 孤独死をして親族や世間様に迷惑をかけたくない・・・
- 身元保証人になってくれる人がいなくて困っている・・・

内閣府認証626号 高齢者総合支援・身元保証支援
NPO法人 **いきいきつながる会**®



賛助会員企業募集!!

〒615-8165 京都市西京区榎原盆山13-1
075-925-7417

府内産杉を使用した京都市「バスの駅」

右京区南太秦にある「バスの駅」は“京都木”である市内産杉が使われています。施工は組合員の株式会社竹内工務店さんです。

東山区清水道の「バスの駅」では京都市初の“CLT（新年号参照）”が使用されました。バスの駅は「地産地消」の文化を広め、京都らしさを観光客へ伝える文化ステーションの役割も期待されています。（西村 学）

◆「バスの駅」とは

歩道に設置する「バス停」に対して「バスの駅」は、歩道に隣接する敷地や建物の一部を活用する「バス待ちス

ペース」です。地域や民間事業者の敷地や建物施設の一部を京都市交通局が無償で借り、上屋やベンチ、バスロケー

ションシステムなどを整備。今後、自動販売機、物販、カフェなどの利便施設の設置も検討されています。



南太秦のバスの駅(北山杉)



清水道のバスの駅(CLT)



衣食住の食住は地産地消で

職人の巧で繊細な技術があっこそ、木が生きてくる

立花隆の主張を本などで知ると、世間での一般的な思考が大方覆されます。なので、地球温暖化のことで正直、躊躇がないわけではありません。

しかし、そのことは横に置いて「美しい森林(もり)づくり推進国民運動」という団体発行のパンフレット『フォレスト・サポーターズ・ガイドブック』を紹介します。

いろんな場面で耳にタコができるくらい聞いている、日本の国土3分の1ある森林の憂える現在。これを前提に①森を守ることで地球環境を守る②森と人の関わりを学ぼう③「フォレスト・サポーターズ」について学ぼう、などといろんな角度から取り上げています。

その中から1つだけピックアップ。「国産材の家づくり」というページからです。衣食住の衣以外は地産地消であるべきということが強調されつづけています。空気、温度、季節など同じ地域で育った人間と木。この木を使おうと奨励しています。校舎の違いによる教師の疲労度比較に

も注視。一般的疲労から慢性疲労まで、また身体不調や気力減退などの点からも、木造校舎のほうがコンクリート校舎に勝った数値になっています。



フォレスト・サポーターズ・ガイドブック

このページの内容であえて不満をもらせば、木を扱う職人、大工や建具・家具職人のことが2、3行しか書かれていないこと。巧で繊細な技術があっこそ、この日本で木が生きてくること。さらに、家や建具や家具をつくる過程を消費者が見聞きすることで木の消費につながる。この点などを欠かすとボランティアの世界で終わってしまうように思います。（雄）

鍼灸師の健康ノート

第16回

二日酔いに効くツボ

みまもりスタッフ
鍼灸師 林 佑介

今年も1年よろしくお願致します。

年末年始といえば忘年会や新年会です。みなさんもお酒を飲む機会が多かったのではないのでしょうか。

というわけで今回は二日酔いに効くツボです。

内関(ないかん)

二日酔いに効くのはズバリここです。手首の真ん中から指を3本並べたところにあります。

僕も年末に飲みすぎましたが、ここを押し続けてすぐに良くなりましたよ。飲みすぎて翌日気持ち悪くなった時にはぜひお試しください。



労基協の技能講習

●酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者

日程：2月2日(月)～4日(水)／会場：京都府中小企業会館／受講料：16,200円、テキスト代未定

●有機溶剤作業主任者

日程：2月12日(木)、13日(金)／会場：京都府中小企業会館／受講料：8,640円、テキスト代1,944円

●玉掛け

日程：[学科] 2月19日(木)、20日(金) [実技] 21日(土)／会場：[学科] 京都府中小企業会館 [実技] (株)島津製作所紫野工場／受講料：18,360円、テキスト代1,645円

●第一種衛生管理者受験準備講習

日程：2月25日(水)～27日(金)／会場：京都府中小企業会館／受講料：

15,120円、テキスト代6,696円

●フォークリフト運転

日程：[学科] 3月2日(月)、3日(火) [実技] 第1班4日(水)～6日(金) 第2班10日(火)～12日(木)／会場：[学科] 京都府中小企業会館 [実技] ニチュ三菱フォークリフト(株)実技講習会場／受講料：30,780円、テキスト代1,620円

●特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者

日程：3月10日(火)、11日(水)／会場：京都府中小企業会館／受講料：8,640円、テキスト代1,944円

●ガス溶接

日程：[学科] 3月13日(金) [実技] 14日(土)／会場：[学科] 京都府中小

企業会館 [実技] 京都職業能力開発促進センター／受講料：10,260円、テキスト代864円

●労務管理セミナー

[裁判例から考える労務対策②]
日程：3月17日(火)／会場：京都府中小企業会館／受講料：7,000円

【問合せ・申込み】

(公社)京都労働基準協会
Tel.075-321-2731

※連合会のホームページ

<http://www.kyoukiren.or.jp>
※受講申込者が少人数の場合は中止になることがありますのでご了承ください。



建災防の各種講習

●足場の組立て等作業主任者

日程：2月3日(火)、4日(水)／会場：京都建設会館／受講料：10,910円

●低圧電気特別教育

日程：2月6日(金)／会場：京都建設会館別館／受講料：8,230円

●職長・安全衛生責任者教育

日程：2月18日(水)、19日(木)／会場：京都建設会館／受講料：15,430円

●職長のためのリスクアセスメント

日程：2月19日(木)／会場：京都建設会館／受講料：8,230円

●自由研削と石の取替え試運転業務特別教育

日程：2月25日(水)／会場：京都建

設会館別館／受講料：9,000円

●玉掛け

日程：3月5日(木)、6日(金)、8日(日)／会場：京都建設会館別館／受講料：20,160円

●石綿作業主任者

日程：3月12日(木)、13日(金)／会場：京都建設会館別館／受講料：12,850円

●高所作業車運転(10m以上)

日程：3月25日(水)、26日(木)／会場：京都建設会館別館／受講料：37,850円

●車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)運転特別教育

日程：4月9日(木)、10日(金)／会場：

京都建設会館／受講料：14,000円

【問合せ・申込み】

建設業労働災害防止協会京都府支部
〒604-0944

京都市中京区押小路
通柳馬場東入 京都建設会館別館内
Tel.075-231-6587

Fax.075-251-0058

受付時間：午前9時～午後5時

※ホームページから講習予定、申込書が取り出せます。

<http://homepage2.nifty.com/KYO-KENSAI/>



滋賀県 水口工業団地 Y製作所様

太陽光発電施工実績13年
各メーカー販売から施工まで行います

パナソニック・シャープ・ホンダソルテック
京セラ・三菱・ソーラーフロンティア・三菱重工

株式会社 近藤電業社

お問合せ 075-933-6229

〒612-8487 京都市伏見区羽束師菱川町336-19

理事・支部長忘年会

昨年12月16日に理事忘年会、18日に支部長会議忘年会を行いました。理事忘年会はセンチュリーホテルで行い、理事・監事・職員あわせて19人が参加しました。



宮下副理事長の乾杯のあいさつ(理事忘年会)

乾杯の発声を宮下副理事長、締めのおいさつを尾形副理事長にお願いしました。一年間の組合の活動を振り返りながら交流を深め合い、60周年に向けて理事一丸となって臨もうと意思統一が図られました。



支部長会議忘年会の様子

支部長会議忘年会は東山にある「トラットリアコンフォール」で行い、支部長・職員あわせて22人が参加しました。各支部から支部長もしくは代理の支部役員が参加し、各支部の活動について交流しました。合同忘年会や企画などを行うための下地づくりになったのではないかと思います。

交流があってこそ“横のつながり”が生まれます。協同組合がさまざまな組合員の交流の場となるように、60周年に向けてまい進します。

(組織部)

12月の定例理事会

●12月定例理事会は理事会での決定どおり、定例理事会を休会としました。

編集後記

2月の祝日に「建国記念の日」があります。建国をしのび、国を愛する心を養う日と定義されています。日本人にとっては馴染みやすい定義です。

ふと、中東やアフリカの国々の紛争が頭をよぎります。その紛争の原因は文化圏の違いを無視して、欧州列国が勝手に国境を引き、国を作ってしまったことが大きな要因です。

宗教や文化の違いと欧米列強の利権により対立させられ、紛争により貧困が拡大しています。

かの国の人たちが自らの手で民主

義的な手段を用いて、安心して「建国」を祝える日が来ることを祈ります。

(西村 学)



中東の地図

組合日誌

本部

- 1 / 5 仕事始め
- 1 / 10 サバイバル・ウォーク
- 1 / 16 新年組合員交流会
- 1 / 29 理事会

支部

- 1 / 9 JIC(役)
- 1 / 22 伏見(新)

全京都建設協同組合 メールアドレス一覧

川久保理事長	kawakubo@zenkyoto.jp
組 織 部	soshiki@zenkyoto.jp
建設工事業部	koji@zenkyoto.jp
機 材 リ ー ス	kizai@zenkyoto.jp
(総 務)	soumu@zenkyoto.jp
洛南事務所	raknan@zenkyoto.jp

ホームページ <http://www.zenkyoto.jp/>

心をつなぐお手伝い

私たちはお客様の事業と運動に貢献する、パートナーでありたいと願っています。

印刷媒体、映像媒体、電子メディアの企画・制作、
イベント企画、DTP指導サービスの提供

株式会社 きかんしコム

〒601-8205 京都市南区久世殿城町330-1 TEL.075-935-1115(代) FAX.075-935-5100
E-mail: com@mediapark.co.jp <http://www.mediapark.co.jp>



www.daytora.net

株式会社 **DAYTORA**

足場工事 京阪機材センター

〒618-0091

京都府乙訓郡大山崎町円明寺門田 8

Tel.075-958-4400

Fax.075-958-4700

株式会社 **デイトラ土木**

基礎工事

〒618-0091

京都府乙訓郡大山崎町円明寺門田 8

Tel.075-955-4455

Fax.075-958-4700

